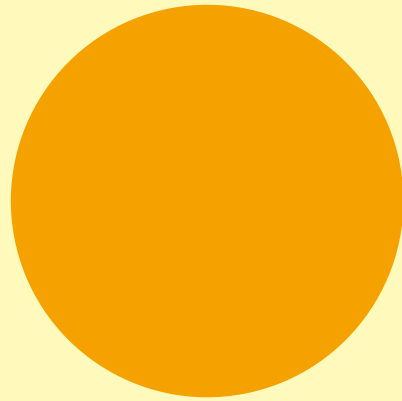


令和元年度（2019年度）  
わかりやすい決算書

---

# 宮若市マナーブック





## ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さんにまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めております。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、令和元年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しました。

令和元年度一般会計においては、社会保障関係経費の増加など厳しい財政状況の中、市税など自主財源の確保、補助金や地方債の有効活用などにより、平成18年の合併以降連続で黒字決算となりました。また、本市を取り巻くさまざまな課題や社会経済状況の変化に対応するため、令和2年度から6年度までを計画期間とする「第2期宮若市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を新たに策定いたしました。5つの基本目標である「産業振興による雇用の創出」「人材の定着・環流・移住の推進」「結婚・出産・子育て環境の整備」「持続可能で元気な地域社会の形成」「既存ストックを活用した交流人口の創出」の実現を目指し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む相互の好関係を確立して参ります。

令和元年度に実施した主な事業として、平成30年度より整備を進めてきました新庁舎については、令和2年5月7日に開庁を迎え、非常用発電機や公共無線LAN環境の整備により防災拠点としての機能の充実や、新たに総合支援窓口システムの導入により窓口の混雑緩和など利便性も大きく向上しました。宮若東中学校区2小学校の再編整備については、令和4年4月の供用開始を目指し、学校給食共同調理場や学童保育所、子育て支援センターを併設した一体的な整備に向けた設計業務に着手し、旧宮田光陵中学校校舎の解体工事を行いました。新国富指標を活用した取組では、地産地消の推進として学校給食に宮若の米や牛肉などの提供を行ったほか、本市公共交通の現状分析やデマンド型交通を導入した場合の効果について九州大学都市研究センターと連携して分析を行って参りました。

宮若市は市制施行15年目を迎え、市のグランドデザインである「第2次宮若市総合計画」に基づいた新たな段階へのまちづくりを進めているところです。急激な少子高齢化や人口減少など大変厳しい時代の変革期を迎えていますが、「地方創生」の実現に向け、一步一步着実に歩みを進めて参ります。また、世界規模で猛威を奮っている新型コロナウイルスですが、今なお収束の兆しが見られない状況でございます。本市では、感染症の予防へ万全を喫し、各種施策による支援を進めるなど、市民の皆様が安心して過ごせるよう努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年9月

宮若市長  
有吉 裕信





## はじめに

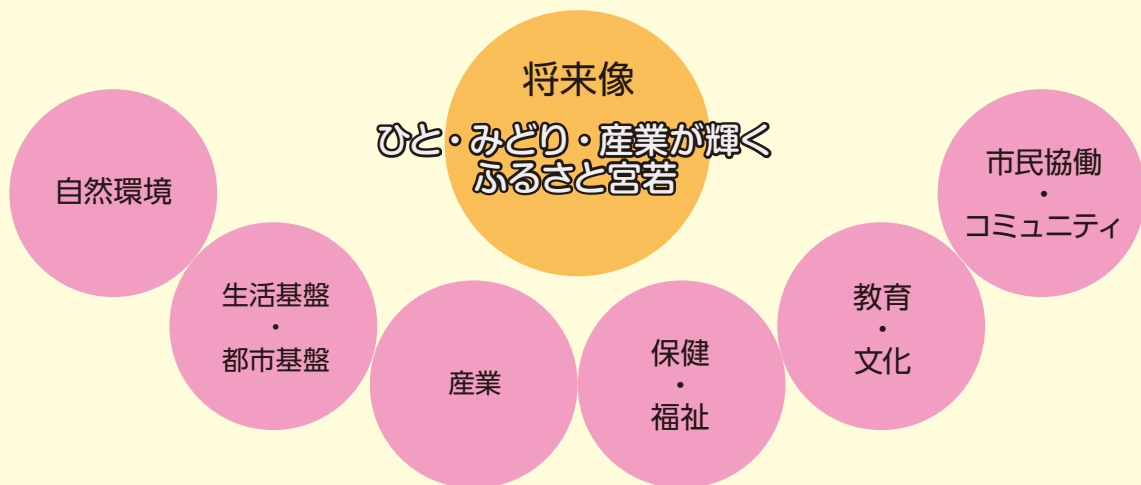
宮若市では、市民の皆さんと協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆さんに配布しています。

このマネーブックは「第2次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どれくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く ふるさと宮若」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

### まちづくりの基本方針



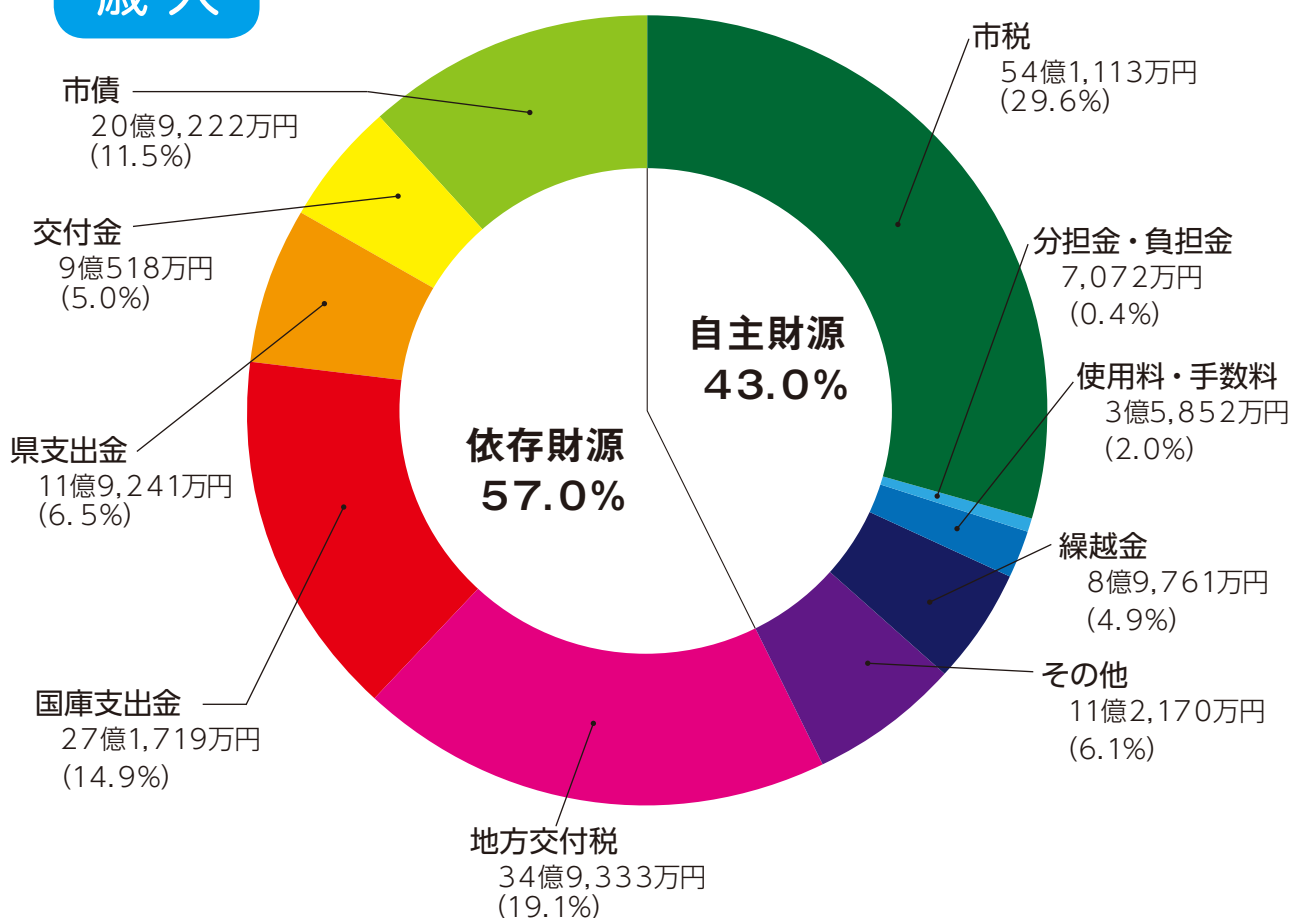
# もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然環境 豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
上水道の安定供給	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 生活基盤・都市基盤 安全・安心で便利な暮らしを確保する生活基盤・都市基盤づくり	9
計画的な土地利用の促進	
中心拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
公園・緑地の整備	
道路・交通網・生活環境の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 産業 企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり	11
農林業の振興	
商業の振興	
企業誘致の推進	
観光の振興	
第4章 保健・福祉 市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、安心な暮らしを高める社会づくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 教育・文化 子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実	16
学校教育の充実	
スポーツの推進	
青少年の健全育成	
芸術文化活動の充実	
文化財の保護・継承	
第6章 市民協働・コミュニティ 市民とともに地域の課題解決に向けて取り組んでいく協働のまちづくり	18
市民参加の推進	
地域コミュニティの形成	
地域情報化の推進	
ふれあい交流活動の充実	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイヤルガイド	24
宮若市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

# 令和元年度 宮若市一般会計決算

歳入	182億6,001万円
歳出	172億9,275万円
差引	9億6,726万円

## 歳入



### 自主財源 43.0% (前年度比 -1.5%)

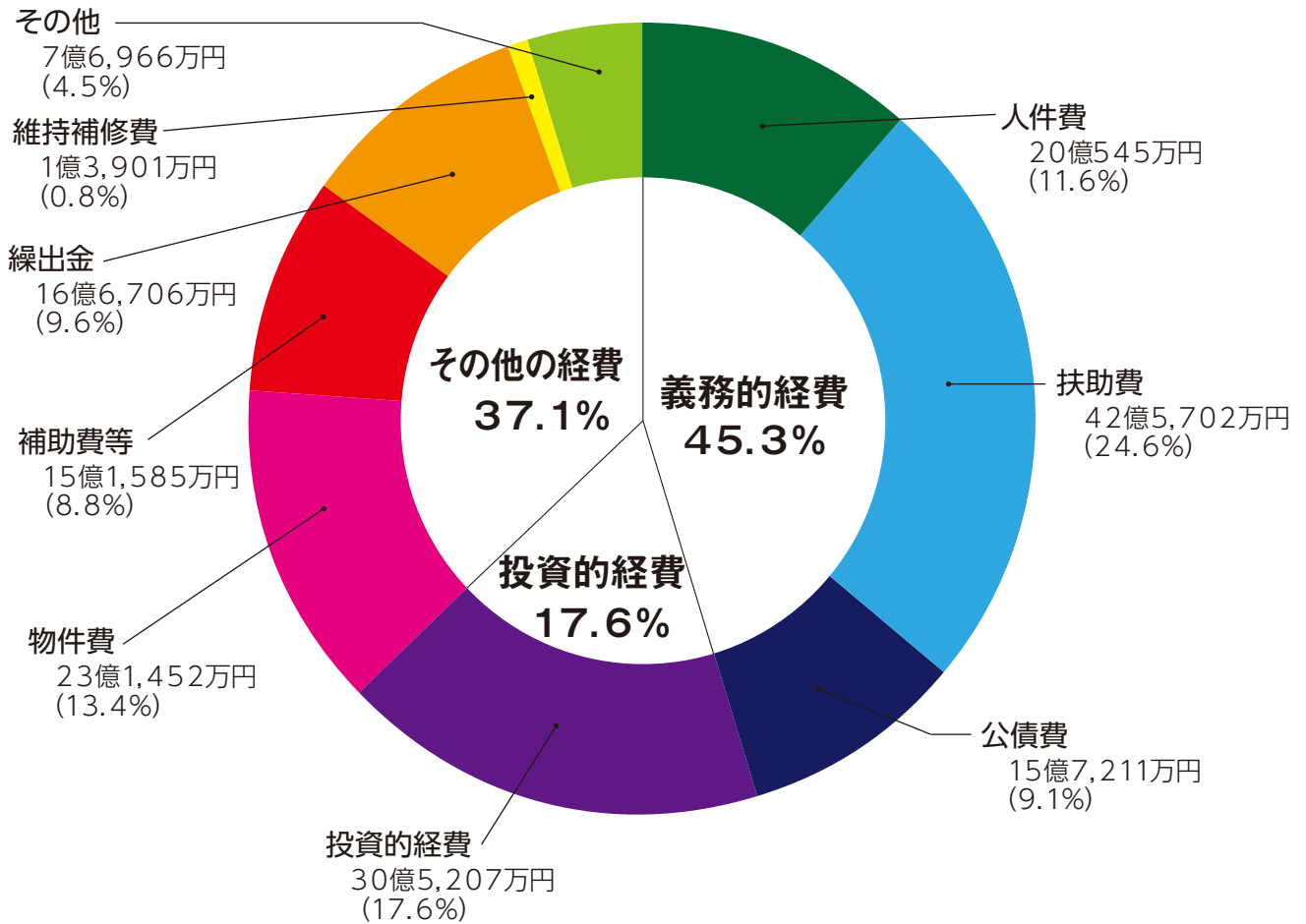
市が自主的に収入できるお金のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

法人市民税や固定資産税の増収などにより市税が増加しましたが、ふるさと納税の減少により全体に占める割合は減少しました。

### 依存財源 57.0% (前年度比 +1.5%)

国や県から交付されるお金のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。東部総合運動公園の整備が完了したことなどにより国庫支出金が減少しましたが、新庁舎の建設に伴い市債は増加しています。

# 歳出



## 義務的経費 45.3% (前年度比 +3.0%)

市職員や議員などの人件費、児童・高齢者・生活困窮者などの支援に要する扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。私立保育所などの開設により、扶助費が増加しました。

## 投資的経費 17.6% (前年度比 -2.6%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。東部総合運動公園の整備が完了したことなどにより減少しました。

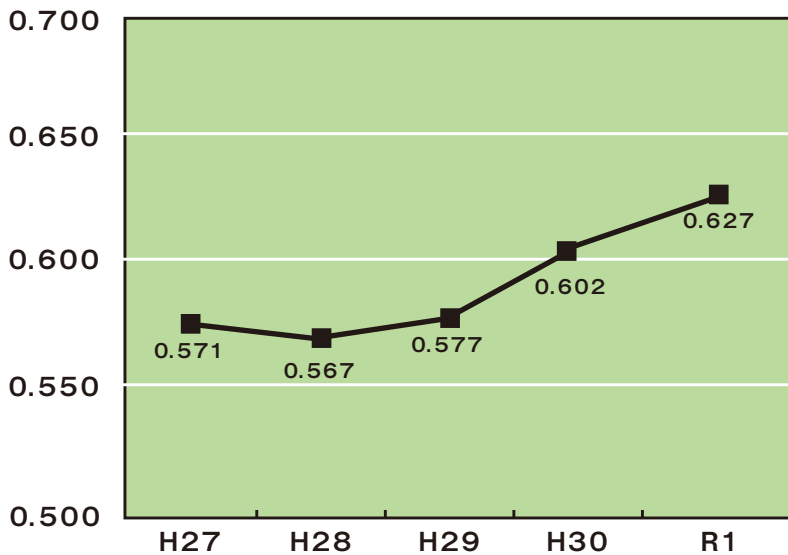
## その他の経費 37.1% (前年度比 -0.4%)

施設の維持管理や賃金などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰入金などのことです。ふるさと納税の減少により積立金などが減少しています。

# グラフで見る財政状況

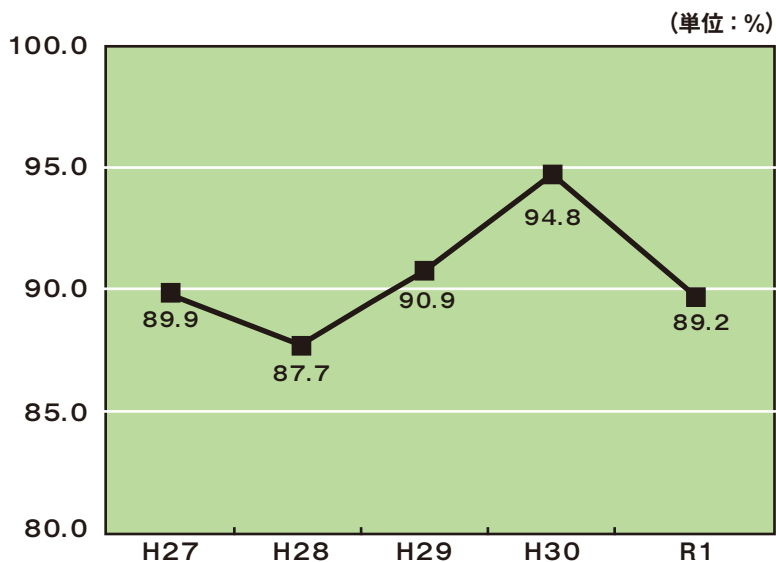
宮若市の財政指標をグラフで見てください。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

## 財政力指数



財政力指数は財政基盤の強さを表すもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。固定資産税などが増加したため、高くなりました。

## 経常収支比率

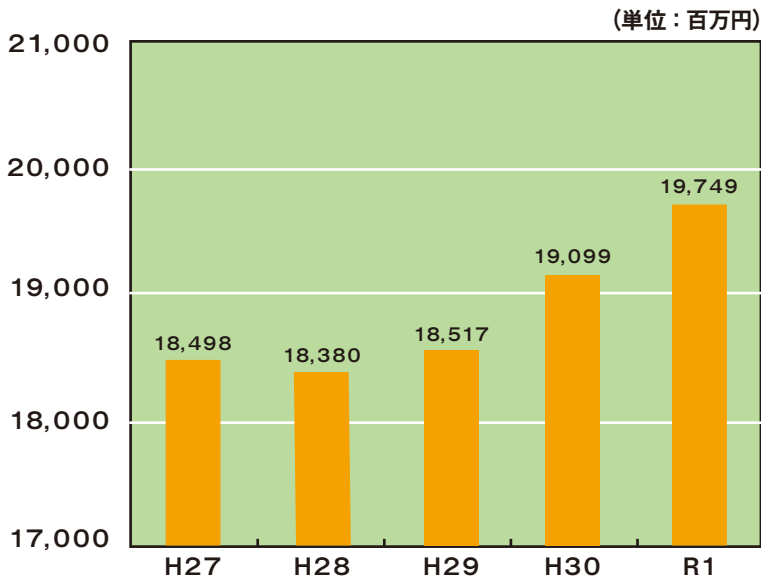


経常収支比率は財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的な経費（人件費・扶助費など）の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。

法人市民税など税収が増加したため低くなりました。

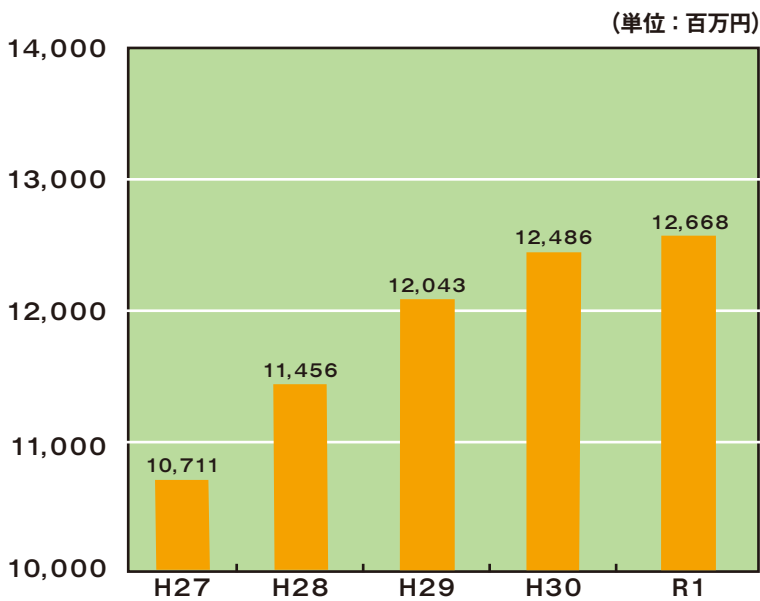


## 市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設等については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。新庁舎建設のための借り入れを行ったことにより、残高は増加しました。

## 基金残高



基金とは市の貯金のことです。経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

## 第1章

## 自然環境

豊かなみどりが輝くふるさとを守る、自然と共生したまちづくり

## 自然環境と地域景観の保全

## ■ 不法投棄防止対策の推進 (環境保全課)

94 万円

財源 市：94万円

不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板の設置などにより、不法投棄の防止に努めました。

また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。



## ■ 空家等対策の推進 (建築都市課)

318 万円

財源 国：152万円 市：166万円

空家等対策計画に基づき、空家化の予防や適切な管理などの啓発に努めるとともに、老朽化し危険性の高い空家9件の解体撤去費用の補助を行いました。

## 廃棄物処理とリサイクル対策の推進

## ■ ごみの減量化・リサイクル活動の推進

(環境保全課)

915 万円

財源 その他：16万円 市：899万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、第2・4日曜日に市役所本庁舎と若宮コミュニティセンターで行っている資源物拠点回収を継続して実施しました。

また、ごみとして処理されている古紙などを有効活用するため、リサイクル活動登録団体へ奨励金を交付するとともに、ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器やダンボールコンポストの購入を補助しました。



## 上水道の安定供給

## ■ 公営企業会計の適用 (水道課)

740 万円

財源 市：740万円 (うち市債：730万円)

簡易水道事業のさらなる経営の健全化を図り、将来にわたって安定的にサービスを提供していくため、令和2年度からの公営企業会計の適用に向け、公営企業会計システムを導入するとともに、業務支援委託を行いました。

## ■ 上水道の安定供給 (水道課)

6,021 万円

財源 その他：179万円  
市：5,842万円 (うち市債：3,850万円)

老朽化による配水管の更新や浄水場施設の整備を行うとともに、幹線配水管の福岡・直方線外2路線の工事などを行いました。



## 下水道等の整備

## ■ 下水道等の整備 (下水道課)

4億8,990 万円

財源 国：1億3,953万円 その他：4,417万円  
市：3億620万円 (うち市債：2億1,190万円)

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況に併せて、詳細設計と調査などを行い、事業認可区域内の幹線管きよの整備や末端管きよの整備促進を図りました。

遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を行うため、福岡県と関連市町が連携を図りながら整備を促進しています。

## ■ 公営企業会計の適用（下水道課）

1,291 万円

財源 市：1,291万円（うち市債：1,290万円）

下水道事業のさらなる経営の健全化を図り、将来にわたって安定的にサービスを提供していくため、令和2年度からの公営企業会計の適用に向け、公営企業会計システムを導入するとともに、業務支援委託を行いました。

## ■ 合併浄化槽整備事業（下水道課）

2,002 万円

財源 国：217万円 県：693万円 市：1,092万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域以外での浄化槽の設置を推進します。

令和元年度は、単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換補助金を追加することで、新たに50基の設置を行うなど、さらなる合併浄化槽の設置促進を図りました。

## ■ 治山・治水・砂防対策の充実

### ■ 砂防対策の充実（土木建設課）

5,386 万円

財源 県：2,500万円  
市：2,886万円（うち市債：2,770万円）

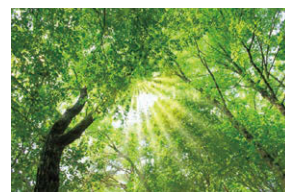
福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業により、宮日田地区（金生）と脇田地区の整備を進めました。

### ■ 森林環境の整備（農政課）

3,949 万円

財源 県：3,949万円

水源のかん養、土砂災害防止など森林の有する公益的機能を高めるため、荒廃森林整備に取り組みました。



## 第2章 生活基盤・都市基盤

安全・安心で便利な暮らしを確保する  
生活基盤・都市基盤づくり

### 計画的な土地利用の促進

#### ■ 都市計画基本図の更新（建築都市課）

2,877 万円

財源 市：2,877万円

航空写真データを基に、地形や道路、建物形状の変更などについて予察調査を実施し、測量や数値図化など都市計画基本図を更新しました。

#### ■ 国土調査の実施（土地対策課）

1億2,472 万円

財源 国：5,315万円 県：2,658万円  
市：4,499万円

土地の開発、保全、利用の円滑化を図るため、四郎丸・芹田・山口地区の一部の地籍図、地籍簿の作成と一筆地調査、測量を実施しました。地籍調査完了後に法務局の字図と登記簿が修正されることから、土地取引の円滑化や行政運営の効率化を図ります。



#### ■ 土地利用基本方針の策定（建築都市課）

537 万円

財源 市：537万円

都市計画基礎調査に基づいて、土地利用の課題や今後の需要動向、将来の土地利用規制、誘導方策の検討などを行い、土地利用の基本方針を策定しました。

### 中心拠点の整備

#### ■ 中心拠点整備事業（まちづくり推進課）

18億475 万円

財源 その他：3億9,758万円  
市：14億717万円（うち市債：14億310万円）

中心拠点の整備は令和3年度までの継続事業として進めており、令和元年度は、新庁舎が竣工しました。また、母子寡婦福祉会館などを解体除去しました。





## 定住・住宅施策の推進

### ■ 定住促進事業（まちづくり推進課）

1億1,572万円

財源 国：1,953万円 市：9,619万円

市内に住宅を取得した方に最長7年間、固定資産税相当額の奨励金を交付する制度、また、市内民間賃貸住宅に居住する新婚・子育て世帯に家賃の一部を最長3年間補助する制度など、各種施策を効果的にPRしながら定住を促進しました。

### ■ 市営住宅の保全管理（建築都市課）

6,469万円

財源 国：3,848万円 県：5万円 市：2,616万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、安全性確保や長寿命化を図るため、外壁改修工事を実施しました。

また、市民が快適に住み続けられることや、市民の消費を促し地域経済の活性化を図るため、個人住宅、地域公民館を対象に住宅等改修補助金制度を継続して実施するとともに、新たに危険ブロック塀などの撤去費補助金交付事業を実施しました。

## 公園・緑地の整備

### ■ 協働による公園の管理・活用の推進

（まちづくり推進課・土木建設課）

1,645万円

財源 その他：190万円 市：1,455万円

犬鳴川河川公園や2000年公園、さくら堤公園は、市民団体などとの協働による管理を行うとともに、イベントの開催などを通じて、市民団体、企業、行政、学校などによる多くの方々の交流の場としての活用を推進しました。



## 道路・交通網・生活環境の整備

### ■ 幹線道路の整備（土木建設課）

1億1,845万円

財源 国：7,811万円  
市：4,034万円（うち市債：2,600万円）

幹線道路・交通網の環境整備は、周辺地域と連携して舗装改修や歩道などの整備を計画的に進め、利便性や安全性の向上に努めました。

### ■ 生活道路の整備（土木建設課）

1億6,594万円

財源 市：1億6,594万円（うち市債：8,520万円）

日常生活で利用する生活道路の維持に努めるとともに、経年劣化した道路の舗装整備を行い長寿命化を図りました。



### ■ 市民と協働した道路環境の保全

（土木建設課）

536万円

財源 市：536万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動について、積極的に周知を行うことで活動団体の増加に努めました。

### ■ 利便性の高い公共交通手段の確保

（産業観光課）

7,847万円

財源 市：7,847万円

地域公共交通を維持確保するため、乗合バス8路線と路線バスへの補助に加え、新たにJR九州バス廃止代替路線（福岡線・飯塚線）の運行維持費を補助しました。

## 消防・防災・防犯・交通安全の充実

### ■ 防災意識の醸成と体制の強化（総務課）

502 万円

財源 市：502万円

自助・共助・公助の理念に基づいた地域防災力の向上に向け、自主防災組織の設立・育成に取り組みました。

また、防災行政無線や緊急速報メールなどの多様な情報伝達手段を有効に活用して、迅速で的確な情報伝達に努めました。



### ■ 消防団の充実（総務課）

2,507 万円

財源 市：2,507万円（うち市債：2,290万円）

地域防災の要となる消防団については、消防団員の加入促進や消防設備の充実に努めました。令和元年度は、消防ポンプ自動車の購入や消防団拠点施設の設計業務を行いました。

### ■ 犯罪を防止する環境整備（総務課）

476 万円

財源 市：476万円

自治会などによる防犯灯の設置などを支援することで、犯罪を防止する環境整備を進めました。（新規：56件、取替：223件）

## 第3章

## 産業

企業誘致と立地企業の発展を支援し、活力ある産業を育て、雇用を生み出すまちづくり

### 農林業の振興

#### ■ 有害鳥獣被害対策の推進（農政課）

617 万円

財源 市：617万円

深刻化する鳥獣被害に対応するため、駆除を推進するための補助制度や、猟友会や関係機関などと連携した駆除活動を強化するとともに、電気牧柵などの設置・補助を行うことで、被害対策に取り組みました。



#### ■ 就農者の育成支援（農政課）

2,348 万円

財源 県：1,296万円 市：1,052万円

水田・園芸農業の生産コスト低減、生産規模の拡大に取り組む認定農業者に対して、農業用機械などの導入を支援しました。

また、新規就農者の経営確立を支援するとともに、営農技術の向上などに取り組む認定農業者連絡協議会の活動を補助しました。

#### ■ 多面的機能支払交付金（農政課）

3,439 万円

財源 国：1,727万円 県：856万円 市：856万円

農業や農村は、自然環境の保全や水源のかん養、良好な景観の形成など多面的機能を有していますが、過疎化・高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保全管理を推進しました。

#### ■ 小規模農地などへの支援（土木建設課）

89 万円

財源 市：89万円

面積が狭小、湧き水による湿田化など、耕作不利農地の条件改善のために農家が実施する対象事業を補助することで、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取組を推進しました。



## ■ 農産物の販路拡大や6次産業化の推進 (農政課)

235 万円

財源 県：25万円 その他：160万円 市：50万円

生産者の技術と意欲の向上を図り、良食味の宮若米を市内外にPRして販売を促進するため、宮若うまい米コンクールを実施しました。

また、販路拡大の取組として市オリジナル米袋を製作するとともに、農産物の6次産業化を支援しました。

## ■ 地産地消の推進 (学校教育課)

265 万円

財源 その他：265万円

ふるさと納税を有効活用し、学校給食に地元農産物(宮若牛・良食味米・お菓子)などの提供を行うこと

で、児童生徒に地元産物に愛着を持ってもらうとともに、将来的な地産地消の推進を図りました。



## 商業の振興

### ■ 生活利便性の向上 (産業観光課)

361 万円

財源 市：361万円

買物利便性の向上のため、車両での移動販売事業に取り組みました。

また、宮若商工会議所・若宮商工会が実施するプレミアム付振興券発行事業を支援しました。

### ■ 新規創業に対する支援 (産業観光課)

53 万円

財源 市：53万円

地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、事業所の開設に係る資金の一部や融資に係る利子の一部を補助することで、創業を促進しました。

## ■ 特産品の開発・販路開拓の推進

(産業観光課)

360 万円

財源 市：360万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者で組織する宮若じまん振興会を支援するなど、販路拡大や普及促進を図りました。



## ■ 中小企業の先端設備投資支援

(産業観光課)

0 万円

財源

先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業が行う先端設備投資について、最大3年間、固定資産税の課税標準をゼロとすることで、生産性向上を支援しました。

## 企業誘致の推進

### ■ 企業誘致の推進 (まちづくり推進課)

9,672 万円

財源 市：9,672万円

磯光工業団地の完売や市遊休地への企業立地などにより、公的な工場用地が不足していることから、平成30年度に新たな用地の確保に向けた調査を実施し、この結果に基づいて、福岡県と連携を図りながら、新たな工場用地の確保に取り組みました。

また、引き続き各種優遇制度を活用して、企業誘致の推進を図りました。



## 観光の振興

### ■ 資源を活かした着地型観光の推進

(産業観光課)

**411 万円**

財源 その他：358万円 市：53万円

市のイメージアップを図るため、特産品かつイメージキャラクターでもある追い出し猫を観光物産展などのイベントで積極的に活用

することで、市の特産品や観光資源のPRを行いました。

また、宮若市ガイドブック「Oh! MIYA!」の増刷やWebサイト宮若ナビ、観光パンフレットなどを活用した市の情報発信を行いました。



## 第4章 保健・福祉

市民が健康に暮らし、高齢者や子どもを支え合う、安心な暮らしを高める社会づくり

### 社会福祉の充実

#### ■ 面接相談員配置による体制強化

(保護人權課)

**432 万円**

財源 国：323万円 市：109万円

生活保護制度に精通した面接相談員を配置し、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や受給申請手続きなどの支援を行い、生活保護行政の適正化に努めました。

#### ■ 社会福祉協議会の活動支援

(子育て福祉課)

**5,163 万円**

財源 市：5,163万円

社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者（児）支援事業など、福祉事業活動の拡充を支援しました。

#### ■ 民生委員・児童委員の活動支援

(子育て福祉課)

**286 万円**

財源 市：286万円

市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動を積極的に支援しました。

### 児童・母子福祉の充実

#### ■ ひとり親家庭への支援 (子育て福祉課)

**2億6,286 万円**

財源 国：8,721万円 県：115万円  
その他：5万円 市：1億7,445万円

ひとり親家庭の生活の安定と自立支援を促進するため、児童扶養手当や高等職業訓練促進給付金などの給付を行いました。

#### ■ 保育士の確保支援 (子育て福祉課)

**382 万円**

財源 県：230万円 その他：119万円  
市：33万円

民間保育所での保育士不足の解消を目指し、保育士への家賃補助制度や就労支援金給付制度により、保育士確保を支援しました。

また、保育士の負担軽減のため、保育補助者の雇用に必要な経費の一部を補助するなど、待機児童の解消に向けて取り組みました。



## ■ 保育の実施 (子育て福祉課)

5億9,724万円

財源 国：2億7,470万円 県：1億2,127万円  
その他：4,456万円 市：1億5,671万円

保育所や認定こども園での通常・延長保育などの保育サービスを実施しました。また、特別支援保育のための加配職員の雇用や英語教育のための経費に補助を行うことで、より保育の質が高められるよう市独自の支援を行いました。

## ■ 学童保育の運営 (子育て福祉課)

7,011万円

財源 国：2,207万円 県：1,785万円  
市：3,019万円

小学校区に合わせて市内5カ所(8クラブ体制)で学童保育所を運営し、小学生がいる子育て世帯の子育て・就労支援を行いました。



## ■ 子育て支援センターの充実

(子育て福祉課)

5,080万円

財源 国：980万円 県：934万円  
その他：294万円 市：2,872万円

子育て支援センターは、さくらんぼ(旧第3保育所)・たんぼぼ(宮若リコリス内)・たけんこ(若宮幼稚園内)の3カ所で運営しています。子育て相談や親子の交流の場として、また、各種の子育て講座を開催するなど、地域の身近な子育て支援の拠点となるよう継続して運営を行いました。

また、さくらんぼとたけんこでは、赤ちゃんの一時預かり事業も継続して実施しました。



## 高年齢福祉の充実

### ■ 介護予防活動の推進 (健康福祉課)

5,082万円

財源 その他：3,778万円 市：1,304万円

介護予防事業を通して、要介護状態などになることの予防、また、要介護状態などの軽減・悪化の防止のための支援に努めました。

また、地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を行い、住み慣れた地域で生活を送ることができるよう支援しました。

### ■ 地域包括ケア体制の確立

(健康福祉課)

5,401万円

財源 その他：5,029万円 市：372万円

団塊の世代が75歳以上となる2025(令和7)年を目処に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの充実を図るため、生活支援サービスの体制整備や在宅医療・介護連携、認知症施策、地域ケア会議の推進などに取り組みました。



## 障がい者福祉の充実

### ■ 障がい福祉サービスの提供

(子育て福祉課)

10億5,104万円

財源 国：5億1,027万円 県：2億5,285万円  
その他：200万円 市：2億8,592万円

障がいのある人が住み慣れた家庭や地域で安心して充実した生活が送れるよう、児童発達支援、放課後等デイサービス、訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、更生医療、育成医療や補装具費の給付など、障がい福祉サービスを提供しました。



■ **チャレンジ雇用の実施**（総務課）

**246 万円**

財源 市：246万円

障がいのある人が民間企業へ就職するための経験を積む機会としてチャレンジ雇用を実施し、民間企業への円滑な就職を支援しました。

■ **不妊治療への支援**（健康福祉課）

**60 万円**

財源 その他：60万円

子どもができない悩みを抱えている夫婦が子どもを持てるような環境を作るため、不妊治療に要する治療費の一部助成を行いました。

**健康づくりの推進**

■ **総合健診の実施**（健康福祉課）

**1,491 万円**

財源 国：17万円 県：52万円 市：1,422万円

生活習慣病の早期発見のため、検診の必要性について周知を行い、総合健診の受診率向上を図りました。令和元年度は、延べ6,126人が受診しました。

- ・健康診断
- ・歯科健診
- ・骨粗鬆症検診
- ・肝炎ウイルス検査
- ・がん検診  
(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん)

■ **特定健診・特定保健指導**（市民課）

**2,076 万円**

財源 県：1,148万円 市：928万円

特定健診は内臓脂肪型肥満に着目した健康診査であり、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的としています。健診を受けていない人を対象に受診勧奨を行うとともに、健診を受診し、結果説明を受けた人を対象に宮若市関連の商品を配布するなど、さらなる受診率の向上を図りました。また、受診の結果、生活習慣病の予備軍や要受診者となる人を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化の防止に努めました。



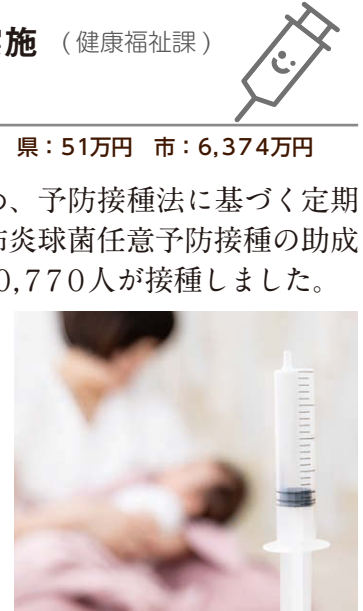
■ **予防接種の実施**（健康福祉課）

**6,586 万円**

財源 国：161万円 県：51万円 市：6,374万円

感染症予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種、高齢者肺炎球菌任意予防接種の助成を継続して行い、10,770人が接種しました。

また、新規に追加となった風しん(成人)定期予防接種や、風しん・麻しんの任意予防接種の助成を行い、169人が接種しました。



■ **みやわか健康ポイント事業**

(健康福祉課)

**246 万円**

財源 市：246万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業をポイント化し、1,314人のポイント達成者全員に記念品を贈呈しました。



■ **こころの健康づくり推進事業**

(健康福祉課)

**53 万円**

財源 国：47万円 市：6万円

宮若市自殺対策計画の策定と、若年層の自殺対策として、市内中学生を対象に思春期のこころの健康について講演を行いました。

## 医療の充実

### 医療費適正化対策（市民課）

5万円

財源 市：5万円

宮若市の国民健康保険財政の健全化に向けた取組の一つとして、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用による医療費減額通知の送付を通じて、先発医薬品と同等であるジェネ

リック医薬品の使用を促進することで、医療費の適正化を図りました。



## 第5章 教育・文化

子どもの「生きる力」を育てる学校教育と、多彩な市民交流を生む社会教育の充実

### 学校教育の充実

#### 確かな学力の育成（学校教育課）

2,556万円

財源 県：150万円 市：2,406万円

学力向上については、確かな学力を確立するための基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力などを育成し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るため、学力向上プロジェクトE事業を中心として様々な事業を実施しています。

放課後学習「みやわかアフター・スクール」は令和元年度から民間に委託して全小中学校で実施し、子どもたちの学習支援を行いました。

教員の資質向上のための研修会「みやわか教師塾」や地域に本市の教育方針の理解を深めるための「教育フォーラム」の開催、学力実態調査・体力実態調査の実施、トヨタ自動車九州株の協力を得てサイエンススクールを継続して実施しました。

また、宮若東中学校が、福岡県の学力向上拠点推進事業の研究指定を受け、授業改善・指導力向上を目指し取り組みました。

#### 教育施設の適正配置（教育総務課） （学校再編事業）

1億1,091万円

財源 市：1億1,091万円（うち市債：9,740万円）

児童数の減少や老朽化が進んでいる宮田東・宮田小学校を再編し、学校給食共同調理場や児童保育所、子育て支援センターを併設した学校施設を整備するため、設計業務に着手し、解体工事を行いました。

再編後の学校名や校歌などの選定、通学路の安全点検などを実施する再編準備委員会を設置し、協議を始めました。



#### 情報教育の推進（学校教育課）

2,391万円

財源 その他：589万円 市：1,802万円

子どもたちの情報活用能力を育成するためには、ICT機器の基本的な操作を身につけることや、各教科の授業においてICTを適切に活用することが必要であるため、各学校に電子黒板などを整備しました。





## ■ 特別支援教育の充実（学校教育課）

1,650 万円

財源 市：1,650万円

小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒や通常学級に在籍している発達障がいがある児童生徒など、特別な支援が必要な子どもたちに適切な教育的支援を行うために、特別支援教育支援員の配置を行うなど、特別支援学級等の教育活動の充実を図りました。

また、特別に支援を必要とする児童生徒の就学等については、発達障がい相談支援カウンセラーによる助言や特別支援教育連携協議会の中で関係機関との情報交換を行い、円滑に連携していくことで、当該児童生徒にとって適切な教育支援を行いました。

## スポーツの推進

### ■ スポーツ団体への支援（社会教育課）

291 万円

財源 市：291万円

スポーツ団体の主体的な活動を支援し、スポーツ人口の拡大を図ることによって、市民の健康づくりの推進に努めました。

### ■ スポーツ大会・キャンプ地の誘致

（社会教育課）

9 万円

財源 市：9万円

光陵グリーンパークや西鞍の丘総合運動公園と宿泊施設の連携を図り、広域的なスポーツ大会やキャンプ地の誘致に取り組みました。



## 青少年の健全育成

### ■ 体験学習の充実（社会教育課）

68 万円

財源 市：68万円

小学生が様々な活動を体験することで、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性など、生きる力を育むことを目的として、わいわいサークルやサマーチャレンジを開催しました。



### ■ 読書活動の充実（社会教育課）

1,747 万円

財源 県：10万円 その他：250万円 市：1,487万円

ふるさと納税を有効活用して児童書を増やし、おはなし会やブックスタート、家読など、児童書を活用した事業を充実させることで、幼少期の子どもの読書活動を推進しました。

## 芸術文化活動の充実

### ■ 芸術文化活動の推進（社会教育課）

140 万円

財源 市：140万円

市民文化祭やコンサートなどを開催し、市民が芸術文化に触れる機会の提供に努め、芸術文化活動の活性化を図りました。

## 文化財の保護・継承

### ■ 文化財の整備・保存の推進

（社会教育課）

1,891 万円

財源 国：900万円 県：52万円  
市：939万円（うち市債：510万円）

国指定史跡である竹原古墳の保存整備に取り組みました。

## 第6章

# 市民協働・コミュニティ

市民とともに地域の課題解決に向けて  
取り組んでいく協働のまちづくり

### 市民参加の推進

#### ■ 広報・広聴の充実 (秘書政策課)

1,776 万円

財源 県:55万円 その他:107万円 市:1,614万円

本市の魅力を市内外に向けて広く発信し、認知度を高めていくため、主要施策や地域情報について、広報紙や市公式ホームページ、市公式アプリ、市公式 SNS などのデジタル媒体を活用した広報広聴の充実を図りました。

#### ■ 新国富指標調査分析事業 (秘書政策課)

140 万円

財源 その他:140万円

平成30年度に実施した市民アンケート調査の分析結果に基づき、新国富の観点から本市公共交通の現状分析やデマンド型交通を導入した場合の効果について、九州大学都市研究センターと連携して分析を行いました。

#### ■ 市民参加機会の確保 (秘書政策課)

23 万円

財源 市:23万円

公募による10名の市民で構成する第6期まちづくり委員会が10月に発足しました。今期のテーマは「特産品の創造」で、商品のブランディングやマーケティングの方法について学びながら、市民目線での特産品の開発に向けた取組を開始しました。

### 地域コミュニティの形成

#### ■ コミュニティ活動の活性化

(まちづくり推進課)

240 万円

財源 市:240万円

自治基本条例に基づく職員の地域担当制度については、市内8ブロックで地域と職員が協働して事業を実施しました。

### 地域情報化の推進

#### ■ 地域情報化の推進 (総務課)

826 万円

財源 国:264万円 市:562万円

新庁舎において新たな窓口サービスを提供するため、業務フローの見直しにより業務改善を図り、効率的な窓口サービスの実施を支援するシステムを構築しました。また、新たな ICT(AI、RPA など)を業務支援や問合せ対応、定型業務の自動化などに活用し、業務の効率化を推進しました。



#### ■ 証明書コンビニ交付サービスの導入

(総務課)

638 万円

財源 市:638万円

最寄りのコンビニで各種証明書が取得できるサービスを導入することで、利用者の利便性向上と窓口の混雑緩和を図りました。

#### ■ 公衆無線 LAN 環境整備支援事業

(総務課)

1,745 万円

財源 国:253万円  
市:1,492万円 (うち市債:940万円)

災害時に携帯電話などが利用できない場合に必要な情報伝達手段を確保することや、窓口サービスでタブレット端末を活用することで市民サービスの向上を図るとともに、市役所内でペーパーレス会議を推進することで事務経費の節減や環境負荷の低減を図るため、避難所や市役所新庁舎に公衆無線 LAN 環境を整備しました。



## ふれあい交流活動の充実

### 国際感覚を備えた人材の育成

(秘書政策課)

193 万円

財源 その他：193万円

宮若市とトヨタ自動車九州(株)、宗像市での地域連携の取組として、中高生を海外に派遣するプログラムを実施しました。宮若市からは5人の生徒が参加し、同世代のバディやホス

トファミリーとの交流、日本のことを伝えるプレゼンテーションを協力しながら行うなど将来を担うグローバルな人材の育成に取り組みました。



## 第7章 計画の推進と実現のために

### 輝くふるさと応援寄附金制度の推進

(財政課)

8,849 万円

財源 その他：7,877万円 市：972万円

宮若市のまちづくりに賛同する方からの「ふるさと納税制度」による寄附金を財源に、特色あるまちづくりを進めました。

また、返礼品を通じた特産品の販路拡大につなげるため、新たな返礼品の発掘に取り組むとともに、ポータルサイトを追加するなど寄附金の確保に取り組むことで、1億1,253万円の寄附につながりました。



### 固定資産（土地）評価替えに伴う不動産鑑定評価委託業務

(税務収納課)

1,433 万円

財源 市：1,433万円

令和3年度固定資産評価替えにおいて活用する宅地などの適正な時価を求めるため、市内全域の標準宅地について不動産鑑定評価業務を行いました。

### 地番現況図などの更新 (税務収納課)

1,160 万円

財源 市：1,160万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るため、地番現況図や公図の通年異動更新を行い、令和3年度評価替えに向けて土地評価見直し業務を進めました。



### 収納率の向上及び滞納対策の強化

(税務収納課)

102 万円

財源 市：102万円

収納率の向上のために、亡くなった滞納者が所有している財産について公売を行うため、相続財産管理人選任業務を委託し、選任された管理人により相続財産の処分を行う手続きを行いました。

また、ファイナンシャルプランナーによる多重債務者のための過払い利息分の返還請求など、家計改善指導に取り組み収納率の向上を図りました。





## 資料 決算概要

### 一般会計

歳入総額	182億6,001万円
歳出総額	172億9,275万円
差引残額	9億6,726万円

#### 歳入

款	決算額
1 市税	54億1,113万円
2 地方譲与税	1億6,666万円
3 利子割交付金	171万円
4 配当割交付金	978万円
5 株式等譲渡所得割交付金	595万円
6 地方消費税交付金	5億7,114万円
7 ゴルフ場利用税交付金	4,750万円
8 自動車取得税交付金	3,131万円
9 環境性能割交付金	961万円
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	154万円
11 地方特例交付金	5,496万円
12 地方交付税	34億9,333万円
13 交通安全対策特別交付金	503万円
14 分担金及び負担金	7,072万円
15 使用料及び手数料	3億5,852万円
16 国庫支出金	27億1,719万円
17 県支出金	11億9,241万円
18 財産収入	1億1,341万円
19 寄附金	1億1,694万円
20 繰入金	5億6,766万円
21 繰越金	8億9,761万円
22 諸収入	3億2,368万円
23 市債	20億9,222万円

#### 歳出

##### 目的別

款	決算額
1 議会費	1億5,875万円
2 総務費	40億5,255万円
3 民生費	63億6,716万円
4 衛生費	10億5,430万円
6 農林水産業費	5億6,267万円
7 商工費	3億3,355万円
8 土木費	12億6,222万円
9 消防費	5億4,024万円
10 教育費	13億3,228万円
11 災害復旧費	5,692万円
12 公債費	15億7,211万円

##### 性質別

区分	決算額
人件費	20億545万円
扶助費	42億5,702万円
公債費	15億7,211万円
物件費	23億1,452万円
維持補修費	1億3,901万円
補助費等	15億1,585万円
繰出金	16億6,706万円
積立金	7億4,966万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	30億5,207万円

## 国民健康保険特別会計

歳入総額	31億	75万円
歳出総額	33億7,793万円	
差引残額	△2億7,718万円	

### 歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億4,483万円
2 使用料及び手数料	45万円
5 国庫支出金	386万円
6 県支出金	22億3,654万円
10 繰入金	2億8,837万円
12 諸収入	2,670万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	5,711万円
2 保険給付費	21億3,747万円
3 国民健康保険事業費納付金	7億7,923万円
4 共同事業拠出金	1万円
6 保健事業費	1,976万円
9 諸支出金	8,313万円
11 繰上充用金	3億122万円

## 後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億4,152万円
歳出総額	4億3,376万円
差引残額	776万円

### 歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	2億9,944万円
2 使用料及び手数料	5万円
3 繰入金	1億3,350万円
4 繰越金	853万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	265万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億3,048万円
3 諸支出金	5万円
4 保健事業費	58万円

## 簡易水道事業特別会計

歳入総額	1億 594万円
歳出総額	8,067万円
差引残額	2,527万円

### 歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	228万円
2 使用料及び手数料	4,383万円
3 繰入金	4,824万円
4 繰越金	22万円
5 諸収入	407万円
6 市債	730万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	1,465万円
2 事業費	1,194万円
3 公債費	5,408万円

## 公共下水道事業特別会計

歳入総額	8億 520万円
歳出総額	7億 260万円
差引残額	1億 260万円

### 歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	2,760万円
2 使用料及び手数料	4,293万円
3 国庫支出金	1億3,953万円
5 財産収入	1万円
6 繰入金	3億2,495万円
7 繰越金	2,881万円
8 諸収入	1,657万円
9 市債	2億2,480万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	5,183万円
2 公共下水道建設費	4億8,991万円
3 公債費	1億6,086万円

## 吉川財産区特別会計

歳入総額	170万円
歳出総額	78万円
差引残額	92万円

### 歳入

款	決算額
1 財産収入	148万円
3 繰越金	22万円

### 歳出

款	決算額
1 総務費	60万円
2 財産費	18万円



# 水道事業会計

## (1) 収益的収入及び支出

収入		5億2,390万円
区分		決算額
給水収益		4億2,116万円
受託工事収益		1,046万円
その他の営業収益		24万円
負担金		1,881万円
他会計補助金		50万円
水道加入金		626万円
長期前受金戻入		6,613万円
雑収益		34万円

支出		4億8,580万円
区分		決算額
原水及び浄水費		1億1,926万円
配水及び給水費		7,737万円
受託工事費		1,055万円
総係費		4,252万円
減価償却費		1億8,996万円
支払利息及び企業債取扱諸費		2,945万円
消費税及び地方消費税		1,657万円
特別損失		12万円

## (2) 資本的収入及び支出

収入		4,180万円
区分		決算額
企業債		3,850万円
他会計補助金		151万円
負担金		179万円

支出		1億6,708万円
区分		決算額
建設改良費		6,090万円
固定資産購入費		372万円
企業債償還金		1億246万円

# 宮若市役所 ダイヤルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	32-1072
情報政策係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策、ICTの利活用など		
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市民課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	32-1008
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	
秘書政策課	秘書広報係	市長・副市長秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財政課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債など	32-0590
	財務経営係	行財政改革、ふるさと納税、行政基本資料の収集など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園、企業誘致など	32-0773
	拠点整備推進係	中心拠点整備の促進など	
子育て福祉課	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画など	32-0562
	子育て支援係	児童・母子福祉、児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談、学童保育など	32-0517
	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0541
健康福祉課	健康対策係	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	32-1177
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄、太陽光発電等設置助成など	
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石、観光資源の保全・活用など	
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土地対策課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	県道整備対策係	県道の整備に関することなど	32-0566
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	
建築都市課	建築都市係	都市計画、建築協定、緑化対策、市営住宅の維持管理、空き家対策など	32-0955
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
教育総務課	教育総務係	小学校・幼稚園の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校再編推進係	小学校再編、学校給食施設の整備など	
学校教育課	学校教育係	児童就学、奨学金、通学区域、学級編成、教育支援センターなど	32-0715
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興など	32-3210
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民窓口課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

## 宮若市民憲章

## 宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。



市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。

宮若市役所 秘書政策課 政策推進係

〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1

TEL 0949 (32) 0512

FAX 0949 (32) 9430

URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>

E-mail [seisaku@city.miyawaka.lg.jp](mailto:seisaku@city.miyawaka.lg.jp)